

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室
 担当者 : 認証標準物質担当
 電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2015年12月1日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 8302001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 8302-a
 バイオディーゼル燃料 (パーム油由来)
 (Biodiesel Fuel (Palm oil-Based))

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、バイオディーゼル燃料 (脂肪酸メチルエステル) および類似の試料中の成分および物性値の測定において、測定の精度管理、測定方法や測定装置の妥当性確認の他、装置の校正に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。燃料としての使用を禁ずる。
 本標準物質は、標準物質 (日本産業規格 (JIS) Q0030 に定められるもの) である。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 引火性液体 : 区分4
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2B

GHSラベル要素 : -

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 眼刺激

注意書き :

可燃性液体

[安全対策]

取り扱い後はよく手を洗うこと。

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 保護具を着用すること。

[応急措置]

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診察を受けること。

[保管]

直射日光を避け、容器を密閉して、涼しく換気の良い冷暗所で保管する

こと。

[廃棄]

関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託すること。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分 1

化学名又は一般名 : パーム油脂肪酸メチルエステル

化学特性 : -

分子量 : -

CAS 番号 : 91051-34-2

含有量 : 99 %以上

官報公示整理番号(化審法) : -

官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 2

化学名又は一般名 : メタノール

化学特性 : CH₃OH

分子量 : 32.04

CAS 番号 : 67-56-1

含有量 : 564 mg/kg

官報公示整理番号(化審法) : 2-201

官報公示整理番号(安衛法) : 公表

成分 3

化学名又は一般名 : 水

化学特性 : H₂O

分子量 : 18.02

CAS 番号 : 7732-18-5

含有量 : 393 mg/kg

官報公示整理番号(化審法) : -

官報公示整理番号(安衛法) : -

ただし以下の元素を含む。

Na、Mg、K、Ca、P、S

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 清浄な水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴等は脱がせ、医師の診

	断を受ける。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	: 水でよく口の中を洗浄する。医師に連絡する。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 散水、粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂。
使ってはならない消火剤	: 棒状注水。
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）が発生することがある。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: 漏出した液は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	: 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 火気厳禁。 高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。
局所排気・全体換気	: 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し局所排気装置を設置する。
安全取扱注意事項	: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。

漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

使用後は容器を密閉する。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではない。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。

屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件 : 直射日光を避け、容器を密閉して、涼しく換気の良い冷暗所で保管すること。

安全な容器包装材料 : ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

- ・ ACGIH TLV-TWA : 設定されていない
- ・ 日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない
- ・ OSHA PEL TWA : 設定荒れていない

設備対策

換気・排気 : 局所排気装置又は全体換気装置。

安全管理・ガスの検知 : 測定器、検知管。

貯蔵上の注意 : 床面に沿って換気。密封。可燃性及び還元性物質、強酸化剤から離しておく。

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- ・ 外観 : 液体
- ・ 色 : 黄色透明
- ・ 臭い : 特異臭
- ・ pH : データなし

・融点	:	15 °C前後
・沸点	:	データなし
・引火点	:	60 °C以上 90 °C以下
・爆発範囲	:	データなし
・蒸気圧	:	データなし
・相対蒸気密度 (空気 = 1)	:	データなし
・比重又は嵩比重	:	データなし
・溶解度	:	水にほとんど溶けない。エタノールアセトン、トルエンなど多くの極性有機溶媒に可溶。ヘキサン、石油エーテルなどの非極性有機溶媒にほとんど溶けない。
・n-オクタノール／ 水分分配係数 (log Po/w)	:	データなし
・自然発火温度	:	データなし
・分解温度	:	データなし
・燃焼性	:	データなし
・密度	:	0.87504 g/cm ³ (15 °C)
・動粘度	:	4.4801 mm ² /s (40 °C)

10. 安定性及び反応性

◇安定性

- ・推奨保管条件下で安定。

◇反応性

- ・データなし

◇危険有害反応性

- ・データなし

◇避けるべき条件

- ・熱、高温、日光、裸火・スパーク・静電気・その他の着火源との接触

◇混触危険物質

- ・データなし

◇危険有害な分解生成物

- ・一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

(メタノール)

経口 ラット LD50 : 5600 mg/kg

経皮 ウサギ LD50 : 15800 mg/kg

眼に対する重篤な損傷性

(メタノール)

／眼刺激性

ウサギを用いた Draize 試験で、適用後 24 時間、48 時間、72 時間において結膜炎は平均スコア (2.1) が 2 以上であり、4 時間まで結膜浮腫が見られた (スコア 2.00) が 72 時間で著しく改善 (スコア 0.50) した。

その他

※有害性情報については、混合物としての情報がいないため、原材料の情報より作成しています。

本製品は通常の条件下では安定であり、有害な添加剤成分が溶出する等の危険はありませんが、高温下での使用など特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を行ってご使用ください。

12. 環境影響情報

生態毒性

- ・データなし

分解性・濃縮性

- ・データなし

生体蓄積性

- ・データなし

土壌中への移動性

- ・データなし

オゾン層への有害性

- ・データなし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 焼却法
スクラバーを具備した焼却炉で焼却する。
廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。なお上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

- 国連番号 : 該当なし
- 国連分類 : -
- 品名 : -
- 容器等級 : -
- ICAO/IATA : 該当なし
- 海洋汚染物質 : 有害危険液体 (Y類)
- 注意事項 : 直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

15. 適用法令

◇消防法

- ・危険物第四類 第三石油類 危険等級Ⅲ (非水溶性液体)

◇船舶安全法

- ・危告示別表第8の3 「パーム油脂肪酸メチルエステル」

◇海洋汚染防止法

- ・ばら積み運送 施行令別表第1 有害危険液体 (Y類) 319 パーム油脂肪酸メチルエステル

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。
